フットボールアカデミー・第１回 U-19 キャンプ（東日本）が開催されました。

フットボールアカデミー・第１回 U-19 キャンプ参加者たち

日本アメリカンフットボール協会は、３月２１日（金）～２３日（日）の 3 日間、フットボールアカデミー・第１回 U-19 キャンプ（東日本）を開催いたしました。

一貫した指導体制の確立、競技力の向上、若手選手発掘の等を目的に昨年度より開始されたプログラムで、本年度はカレッジキャンプからスタート。そしてシニアと続きこの週末最年少・U-19 キャンプを迎えた。東日本地区の会場となった日本大学には、26 チーム 58 名の選手が参加。コーチは 2014 年 U-19 世界選手権日本代表、山嵜監督をはじめとした代表コーチ陣を中心に 14 名のコーチが指導に当たるという充実したものとなりました。

はじめに、JAFA 強化育成部・輿部長より、世界へ目を向けた国内フットボールのレベルアップ、JAFA のフットボールアカデミーへ取り組み等の説明を受け、続いて朝倉全紀ストレングスコーチ（LIXIL）からストレングス強化の重要性について、レクチャーが行われた。フットボール選手にとって、体を大きくする事、鍛えることがいかに大切か、判りやすく説明されました。

フィールドでは冒頭、U-19 日本代表山嵜監督から「代表チームに選抜されることが目標かもしれないが、一番大切なことは毎日、成長する努力を続ける事、一流のコーチ陣のもと、すべてを。その取り組みが一人ひとりを成長させ、チームを強くさせる。このアカデミーでは途中でやめない、最後までやりきる。これを肝に命じて欲しい。」と話し選手達は真剣に耳を傾けていました。

そしてフィールドにでは身体測定、およびドリル関連のタイム測定が行われ、続いてフットボールスキルの練習が行われた。

2 日目は、ミーティングからスタート、ディフェンス/オフェンスに分かれ、用意されたプレーブックが配られインストールが開始。内容の濃いミーティングが長時間にわたり行われました。それぞれシステムの説明、普段なかなか出来ない質問など、パートに分かれて充実したミーティングを行った。ミーティングを終えた選手達はフィールドに移動。フルギア練習に臨んだ。2 日になってようやく緊張感がとれ、選手同士も打ち解けたものの、コーチの前では選手それぞれが自分のプレーをアピール。独特の緊張感が感じられた。

練習後にはアカデミーの新しい取り組みである「栄養講習会」が行われた。株式会社明治にご協力いただき、「世界で戦えるフットボール選手のための食事と栄養」をテーマに食事の大切さ、栄養補給のタイミングなどを管理栄養士の岩切佳子先生に講義頂きました。

講義後には選手の食事や生活習慣に関するアンケートを実施、この結果は個々に分析され、次回クリニック時に全員にフィードバックされます。

3 日目はパート練習の後、チーム練習に多くの時間を割いた。試合形式の熱気のこもったプレーが随所に見られ、選手達も自然と声が出るようになり、3 日目早くもチームとしての一体感が感じられた。

練習後は各パートコーチから選手達に個別にレクチャーが行われる等、内容の濃い 3 日間となった。

【山嵜代表監督】

この年代の選手成長著しい。昨日より今日、今日より明日、日一日とうまくなっている。この 3 日間学んだこと、良い緊張感を忘れずチームに戻って精進して欲しい。次のアカデミーで更に成長した皆に会えるのが楽しみ。

次は、3 月 28 日（金）～30 日（日）、関西大学高槻キャンパスにてフットボールアカデミー・U-19 キャンプが行われる。